

令和6年度 第2回 山形県熱中症対策調整会議

日時：令和6年11月8日（金）午後3時30分から

場所：県庁3階 災害対策室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 協 議

(1) 今夏における熱中症警戒アラート等の発表状況について

(2) 今夏における熱中症による救急搬送状況について

(3) 今夏における熱中症対策に係る主な取組状況について

① 児童養護施設の熱中症対策に係る支援

② 公立学校における熱中症対策

③ 熱中症予防の注意喚起

④ クーリングシェルター（指定暑熱避難施設）に係る支援

⑤ その他

4 その他

5 閉会

令和6年度第2回熱中症対策調整会議 出席者名簿

所 属	職 名	氏 名
環境エネルギー部	次長	遠藤 和之
総務部人事課	副主幹	青山 均
総務部広報広聴推進課	課長補佐	佐藤 伸介
総務部高等教育政策・学事文書課	課長	古瀬 隆志
みらい企画創造部企画調整課	課長	大内 皓介
防災くらし安心部防災危機管理課	企画広報主査	増子 能久
防災くらし安心部消防救急課	課長	安達 将吾
環境エネルギー部環境企画課	課長	吉田 正幸
しあわせ子育て応援部しあわせ子育て政策課	課長	保科 孝宏
健康福祉部健康福祉企画課	課長	音山 優子
健康福祉部がん対策・健康長寿日本一推進課	課長補佐	堀米 政隆
産業労働部産業創造振興課	課長補佐	日下部 大士
観光文化スポーツ部観光交流拡大課	課長補佐	鈴木 健治
観光文化スポーツ部スポーツ振興課	課長補佐	永井 彰
農林水産部農政企画課	課長補佐	太田 真哉
県土整備部管理課	課長	浅沼 道生
会計局会計課	課長	村上 裕樹
教育局教育政策課		(欠席)
教育局学校体育保健課	課長	村上 周市
企業局総務企画課	経営戦略推進室 室長補佐	鈴木 孝宜
病院事業局県立病院課	課長補佐	高梨 芳樹
警察本部警務部厚生課	副主幹	森谷 直行
オンライン		
村山総合支庁総務企画部総務課	防災安全室 室長補佐	吉田 桂司
最上総合支庁総務企画部総務課	副主幹	阿部 誠
置賜総合支庁総務企画部総務課	課長	伊藤 裕之
庄内総合支庁総務企画部総務課	課長	佐藤 守

計25名

環境エネルギー部環境企画課 (事務局)	課長補佐	結城 亮平
	主査	村上 恭太
	主事	伊藤 雅広

計3名

熱中症警戒アラート等の発表状況について

資料 1

令和6年11月8日
環境エネルギー部

※ 令和6年度のアラート運用期間：R6. 4. 24(水)～10. 23(水)

都道府県	熱中症警戒アラート				熱中症特別警戒アラート
	R3	R4	R5	R6	R6
北海道	5	0	9	1	0
青森	5	0	16	1	0
秋田	8	0	17	1	0
岩手	7	0	22	3	0
宮城	8	0	10	1	0
山形	14	1	24	4	0
福島	8	2	19	12	0
茨城	7	14	16	26	0
栃木	8	12	7	13	0
群馬	15	13	17	22	0
埼玉	7	16	25	23	0
東京	7	10	26	37	0
千葉	8	12	34	39	0
神奈川	10	10	26	37	0
長野	3	7	13	19	0
山梨	12	13	22	31	0
静岡	7	7	29	44	0
愛知	21	13	28	46	0
岐阜	8	2	9	20	0
三重	17	24	34	52	0
新潟	16	17	42	21	0
富山	8	4	29	9	0
石川	14	18	36	17	0
福井	10	12	28	23	0
滋賀	8	8	23	23	0
京都	12	20	29	33	0
大阪	1	13	19	30	0
兵庫	11	25	31	58	0
奈良	0	5	5	32	0
和歌山	15	32	38	65	0
岡山	12	13	15	37	0
広島	21	26	30	47	0
島根	13	21	31	41	0
鳥取	16	17	32	40	0
徳島	12	32	25	47	0
香川	16	30	30	44	0
愛媛	15	33	31	47	0
高知	8	21	32	50	0
山口	7	17	19	39	0
福岡	23	30	28	57	0
大分	20	40	23	50	0
長崎	21	40	42	67	0
佐賀	5	15	19	37	0
熊本	27	36	40	61	0
宮崎	8	28	28	50	0
鹿児島 (奄美地方除く)	26	48	41	64	0
沖縄 (本島分)	15	35	24	56	0
合計	545	792	1173	1577	0

<参考>

◎ 熱中症警戒アラート及び熱中症特別警戒アラートの概要

	熱中症警戒アラート (熱中症警戒情報)	熱中症特別警戒アラート (熱中症特別警戒情報)
発表基準	府県予報区等 [*] 内において、 <u>いずれかの暑さ指数情報提供地点における、翌日・当日の日最高暑さ指数(WBGT)が33に達する場合</u> ※北海道と沖縄県以外は各都府県単位	都道府県内において、 <u>全ての暑さ指数情報提供地点[*]で翌日の日最高暑さ指数(WBGT)が35に達する場合</u> ※本県：20か所
発表時間	原則、 <u>前日 17 時及び当日 5 時時点における予測値を基に発表</u>	原則、前日の 10 時時点における翌日の予測値で判断し、 <u>前日 14 時に発表</u>
地域単位	府県予報区等	都道府県単位

◎ 熱中症警戒アラート等の運用期間

環境省が定める「熱中症特別警戒情報等の運用に関する指針」において、運用期間は原則、「4月第4水曜日から10月第4水曜日まで」とされている（ただし、今後温暖化の影響で、早期の注意が必要な可能性があるため、4月1日からの運用等については、引き続き環境省にて検討を行うこととされている。）

令和 6 年 10 月 29 日
防 災 く ら し 安 心 部

令和 6 年（5 月から 9 月）の熱中症による救急搬送状況について

県内の熱中症による救急搬送人員について、令和 6 年 5 月から 9 月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。

○ 令和 6 年 5 月から 9 月の県内における熱中症による救急搬送人員は、673 人となっており、これは、調査を開始した平成 20 年以降で令和 5 年、令和元年に次ぐ 3 番目の多さとなっています。

○ 年齢区分別、初診時における傷病程度別等の内訳は次のとおりです。

- ・ 年齢区分別では、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児の順。
- ・ 初診時における傷病程度別にみると、軽症が最も多く、次いで中等症。なお、死亡者は 1 名。

死 亡	初診時において死亡が確認されたもの
重 症	傷病程度が 3 週間以上の入院加療を必要とするもの
中等症	傷病程度が重症または軽症以外のもの
軽 症	傷病程度が入院加療を必要としないもの
その他	医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、その他の場所へ搬送したもの

- ・ 発生場所別の救急搬送人員をみると、住居が最も多く、次いで道路、公衆出入場所（屋外）、工場・工事現場等の順。

住 居	敷地内全ての場所を含む
工場、工事現場等	道路工事現場、工場、作業所等
田畑、森林等	田畑、森林、海、川等（農・畜・水産作業の場合のみ）
教育機関	幼稚園、保育園、小・中・高等学校、専門学校、大学等
公衆出入場所〔屋内〕	不特定者が出入りする場所の屋内部分 （例：劇場、飲食店、百貨店、病院、公衆浴場 等）
公衆出入場所〔屋外〕	不特定者が出入りする場所の屋外部分 （例：競技場、各対象物の屋外駐車場、駅（屋外ホーム）等）
道 路	一般道路、歩道、有料道路、高速道路
そ の 他	上記に該当しない項目

5月から9月の県内の熱中症による救急搬送状況(R2～R6)

※ 令和2年の調査期間は、6月から9月

1 年齢及び傷病程度別(初診時)

(単位：人、%)

年	搬送人員数	年齢区分					初診時における傷病程度				
		新生児 (生後28日未満)	乳幼児 (7歳未満)	少年 (18歳未満)	成人 (65歳未満)	高齢者 (65歳以上)	死亡	重症	中等症	軽症	その他
令和2年	608	0	3	51	156	398	4	22	221	354	7
	(構成比)	0.0%	0.5%	8.4%	25.7%	65.5%	0.7%	3.6%	36.3%	58.2%	1.2%
令和3年	597	0	1	59	167	370	4	25	209	318	41
	(構成比)	0.0%	0.2%	9.9%	28.0%	62.0%	0.7%	4.2%	35.0%	53.3%	6.9%
令和4年	552	0	2	68	140	342	1	10	166	347	28
	(構成比)	0.0%	0.4%	12.3%	25.4%	62.0%	0.2%	1.8%	30.1%	62.9%	5.1%
令和5年	1,111	0	7	96	341	667	4	44	275	760	28
	(構成比)	0.0%	0.6%	8.6%	30.7%	60.0%	0.4%	4.0%	24.8%	68.4%	2.5%
令和6年	673	0	1	58	193	421	1	16	198	455	3
	(構成比)	0.0%	0.1%	8.6%	28.7%	62.6%	0.1%	2.4%	29.4%	67.6%	0.4%
対R5同期比	▲ 438	+ 0	▲ 6	▲ 38	▲ 148	▲ 246	▲ 3	▲ 28	▲ 77	▲ 305	▲ 25
対R4同期比	+ 121	+ 0	▲ 1	▲ 10	+ 53	+ 79	+ 0	+ 6	+ 32	+ 108	▲ 25

【集計対象】 5月から9月に救急搬送した熱中症(疑い含む)の傷病者の人員数

2 発生場所別

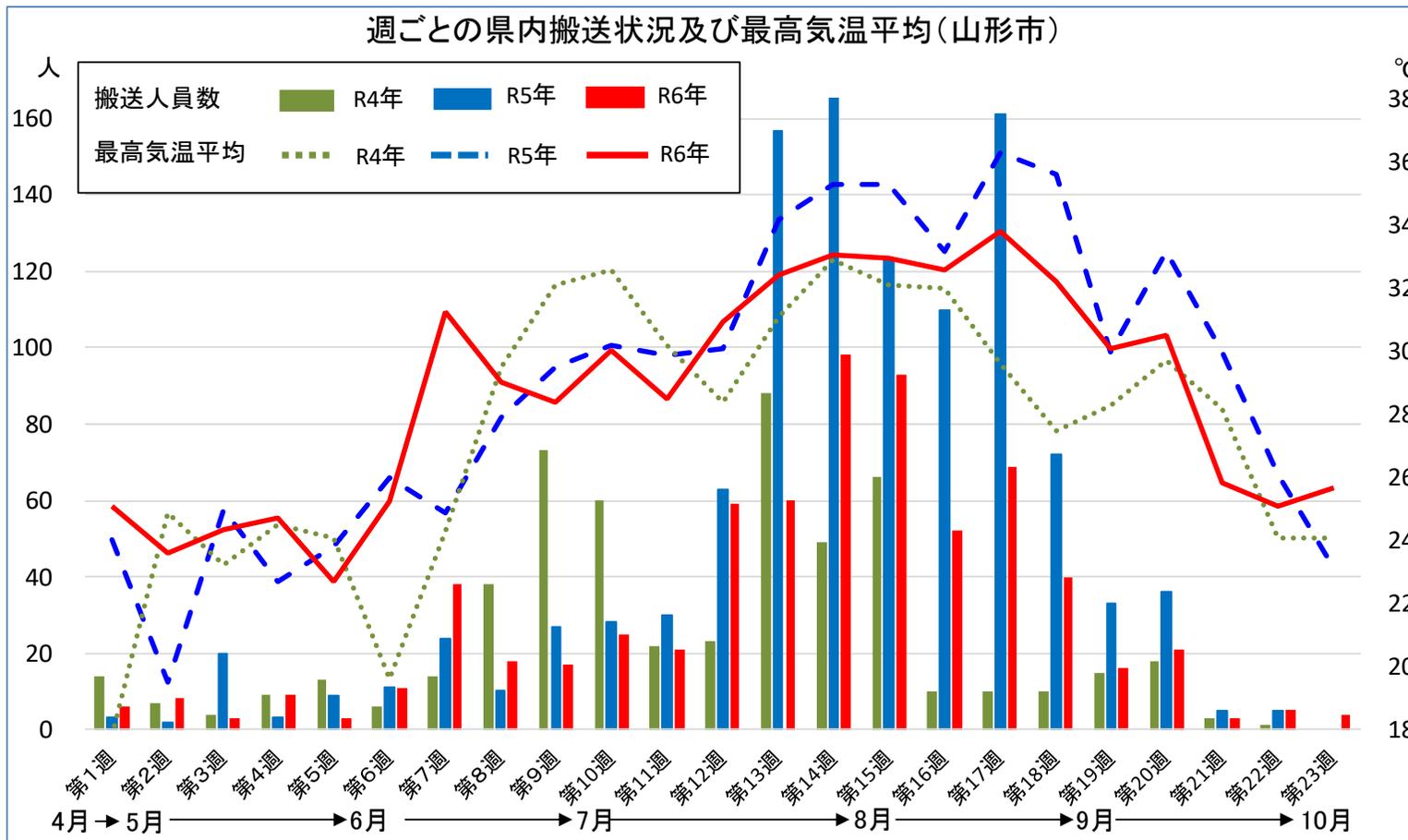
(単位：人)

年	搬送人員数	住居	工場、 工事 現場等	田畑、 森林等	教育 機関	公衆出入場所		道路	その他
						屋内	屋外		
令和2年	608	297	70	35	26	32	58	54	36
令和3年	597	272	62	25	27	28	74	54	55
令和4年	552	237	57	25	37	26	76	61	33
令和5年	1,111	523	122	40	38	66	131	124	67
令和6年	673	303	63	20	18	52	83	90	44
対R5同期比	▲ 438	▲ 220	▲ 59	▲ 20	▲ 20	▲ 14	▲ 48	▲ 34	▲ 23
対R4同期比	+ 121	+ 66	+ 6	▲ 5	▲ 19	+ 26	+ 7	+ 29	+ 11

3 月別(R2～R6)

(単位：人)

	5月	6月	7月	8月	9月	5～9月 計	6～9月 計
令和2年		61	68	387	92		608
令和3年	14	66	262	238	17	597	583
令和4年	38	94	239	139	42	552	514
令和5年	29	70	310	600	102	1,111	1,082
令和6年	25	86	188	321	53	673	648



(注) 調査期間は下記のとおり。
 R6年：4月29日～10月6日
 R5年：5月1日～10月1日
 R4年：4月25日～10月2日

県内の熱中症における救急搬送人員の状況(H20～)

	5月	6月	7月	8月	9月	合計
H20	—	—	66	72	19	157
H21	—	—	46	33	5	84
H22	—	39	152	367	33	591
H23	—	39	173	104	29	345
H24	—	38	145	227	38	448
H25	3	59	54	172	24	312
H26	13	50	141	167	8	379
H27	48	46	217	142	8	461
H28	32	47	95	177	42	393
H29	28	35	232	103	7	405
H30	18	73	372	196	10	669
R 元	50	31	163	447	74	765
R 2	—	61	68	387	92	608
R 3	14	66	262	238	17	597
R 4	38	94	239	139	42	552
R 5	29	70	310	600	102	1,111
R 6	25	86	188	321	53	673

注：令和2年及び平成22～24年の調査期間は6月～9月、平成20年・21年の調査期間は7月～9月。

担当課：しあわせ子育て応援部 子ども家庭福祉課

予算額（R6当初）：5,000千円

令和6年11月8日
しあわせ子育て応援部

目的

- 県内の児童養護施設における熱中症対策として、体育館などの屋内運動施設に、運動中の定期的なクールダウンに利用するための可搬式の冷房機器を設置・整備する事業に対し助成するもの。

事業実績

◆導入実績（実績額:3,699千円）

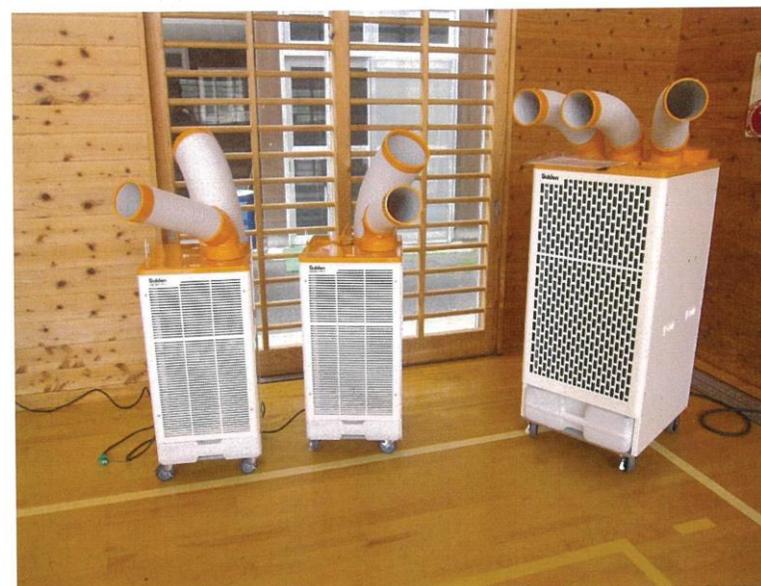
- ①：山形学園（山形市）
- ②：寒河江学園（寒河江市）
- ③：双葉荘（新庄市）
- ④：興望館（米沢市）
- ⑤：七窪思恩園（鶴岡市）

事業内容

◆山形県児童養護施設冷房機器導入支援事業費補助金

- ・補助額：上限額 1,000千円（1施設あたり）
- ・補助率：10／10
- ・対象経費：可搬式冷房機器の購入費及び当該機器の稼働に必要となる電気工事費

スポットエアコン（単相100V 2台、三相200V 1台）



公立学校における熱中症事故防止の取組みについて

1 令和6年度学校管理下における熱中症受診状況（4～9月）

（1）熱中症による医療機関受診数

（人）

	令和6年度					令和5年度 4～9月	令和4年度 4～9月
	4～6月	7月	8月	9月	合 計		
小学校	8	5	2	2	17	45	32
中学校	19	13	6	4	42	78	73
高等学校	8	6	13	1	28	53	41
特別支援学校	0	0	0	0	0	1	4
合 計	35	24	21	7	87	177	150

（2）行動別医療機関受診数

（人）

	運動中	授業中	その他	部活動中	不明	合 計
小学校	5	0	10	0	2	17
中学校	4	1	5	31	1	42
高等学校	3	4	6	13	2	28
特別支援学校	0	0	0	0	0	0
合 計	12	5	21	44	5	87

※運動中…体育の授業や体育行事、授業中…教室等授業中、その他…休み時間等を含む

2 令和6年度の県教育委員会の取組み

（1）熱中症事故防止に向けて例年より早期から随時注意喚起を実施

- 4月8日に県内で夏日となった地点があったこと等を踏まえ、4月9日、県立学校及び市町村教育委員会に対し対策徹底を要請する通知を発出し、以降、事故防止に向けた適切なタイミングを見計り、随時注意喚起を実施
- 年度当初の各種会議（各学校長会議、県市町村教委教育長会議等）において、学校長及び教育長に対し直接対策徹底を呼びかけ
- 4月25日、市町村教育委員会主管課長会議を開催し対策徹底を要請

(2) 運動会・体育祭の実施時期の見直し

- 令和5年12月、昨夏の猛暑の状況を踏まえ、令和6年度の運動会・体育祭の実施について、猛暑が予想される時期*を避けるよう各公立学校に要請
- 令和6年度に運動会等を計画した374校のうち、366校が猛暑が予想される時期以外に実施を計画。猛暑が予想される時期に計画した8校は、空調設備がある屋内での実施等を計画

(参考) 令和5年度当初、猛暑が予想される時期に計画していた学校：105校

- 実施時期に拘らず、当日の気象条件の確認や児童生徒の健康観察を丁寧に実施すること等について、市町村教育委員会と連携して各学校に指導

※猛暑が予想される時期…令和5年度に熱中症警戒アラートが本県に発表された7月下旬から9月上旬を想定

(3) 各種大会における事故防止対策の徹底

- 各学校体育団体に対し、年度当初より事故防止対策の徹底を要請
- 大会等における熱中症事案の発生状況を踏まえ、暑さ指数によらず、状況に応じ躊躇ない計画変更等の判断も含めた対応を行うよう機会あるごとに注意喚起

以上

令和6年度 熱中症予防の周知啓発

- 1 熱中症予防啓発に係る県統一チラシ〔別添〕作成及び各市町村への送付：5月中に済み
各市町村の要望枚数を送付し、市町村回覧板等による周知を依頼
あわせて、市町村広報誌にも活用できるよう、データをメール送信
- 2 関係機関への熱中症対策に係る国からの周知及び依頼：5月22日付事務連絡
「令和6年度における熱中症対策について（周知及び依頼）」
環境企画課より関係部署へメール送信済み（5/24）
- 3 「県民のあゆみ」令和6年7月号での特集記事による啓発
- 4 県ホームページにおける啓発
熱中症の特徴、予防・対処方法、熱中症警戒アラート等を掲載
トップページバナー（7～8月）
- 5 プレスリリースによる啓発：4月12日、4月25日、6月11日、8月2日
- 6 SNS（フェイスブック、X）による啓発：4月12日、4月25日、6月11日
- 7 県政ラジオによる啓発（6/3～9/中旬）
- 8 知事定例記者会見での啓発：4月26日、8月8日
- 9 県政広報番組「やまがたサンデー5」（山形放送）による啓発
県からのお知らせ：6/23放送回
本テーマ：8/4放送回（クーリングシェルター等環エネ部とセットで）
- 10 熱中症予防ポスター（山形県と大塚製薬との包括連携協定に基づくもの）による啓発
【送付先】 各市町村・各保健所
- 11 包括連携協定に基づくチラシ設置による啓発：7月
・ローソン県内108店舗、イオン米沢店
- 12 保健所による熱中症対策
・事業所等を対象に出前講座の実施・啓発資材の配布
・総合支庁や保健所庁舎内で啓発資材を掲示
- 13 被災者等への感染症及び熱中症予防対策に係る注意喚起
大雨災害を受け、被災自治体へ感染症及び熱中症予防の注意喚起について通知
するとともに、県ホームページやチラシ等で呼びかけを実施

だれにでも
起こりうる

熱中症

を

県民
みんなで

予防しよう!

熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です

水分補給

炎天下での作業は
特に注意しましょう!



1時間ごとに
コップ1杯が
目安です



のどが渴いていなくても
こまめな水分補給

たくさん汗を
かいたときは
塩分も忘れずに

アルコールでの水分補給は×

暑さ対策

ガマンしないで
エアコンを利用しましょう!



屋外では日傘や帽子を
使い、涼しい服装に



扇風機や換気扇との
併用も効果的!



室内ではエアコンを
使い、適切な室温に

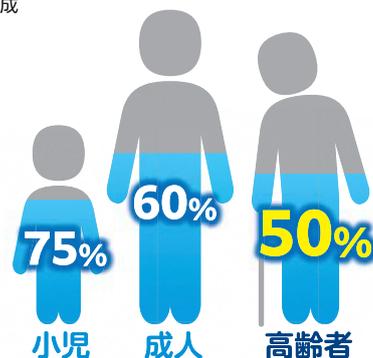
幼児や高齢者は暑さを感じにくい場合があるので要注意!

高齢者は特に注意が必要です

① 体内の水分が不足しがちです

高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

体内の水分量
「輸液・栄養ハンドブック」より作成



② 暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

③ 暑さに対する体の調節機能が低下します

高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも心臓などの循環器系への負担が大きくなります。

※心臓や腎臓の悪い方、持病をお持ちの方は、かかりつけの医師にご相談下さい。

●山形県内の熱中症による救急搬送の状況（過去5年）

約6割は65歳以上の高齢者

発生場所のうち
約半数は住居内で熱中症に



熱中症かな?と思ったら

重症度	症状	対処法
軽症Ⅰ度	<ul style="list-style-type: none"> ●手足がしびれる ●めまい、立ちくらみがある ●筋肉のこむら返りがある ●気分が悪い、ボーっとする 	<ul style="list-style-type: none"> ●涼しい場所へ移動 ●水分・塩分を補給 ●良くならなければ病院へ
中等症Ⅱ度	<ul style="list-style-type: none"> ●頭ががらがらする ●吐き気がする、吐く ●からだがだるい ●意識が何となくおかしい 	<ul style="list-style-type: none"> ●涼しい場所へ移動 ●水分・塩分を補給 ●衣服をゆるめる ●からだを冷やす ●良くならなければ病院へ
重症Ⅲ度	<ul style="list-style-type: none"> ●意識がない ●けいれん ●呼びかけに対し返事がおかしい ●まっすぐに歩けない 	<ul style="list-style-type: none"> ●ためらうことなく救急車を要請



山形県 HP

山形県ホームページ「熱中症に注意しましょう!!」

熱中症警戒アラートのメール配信サービス（無料）がご利用いただけます。詳細については、右の二次元コードからご覧ください。



熱中症予防情報サイト

市町村におけるクーリングシェルトアの指定について（R6.10月23日までに指定を受けた施設）

No.	市町村名	指定施設数	摘要
1	山形市	54	
2	米沢市	40	
3	鶴岡市	59	
4	酒田市	12	
5	新庄市	22	
6	寒河江市	11	
7	上山市	14	
8	村山市	12	
9	長井市	8	
10	天童市	18	
11	東根市	12	
12	尾花沢市	7	
13	南陽市	13	
14	山辺町	4	
15	中山町	4	
16	河北町	12	
17	西川町	3	
18	朝日町	3	

No.	市町村名	指定施設数	摘要
19	大江町	7	
20	大石田町	2	
21	金山町	4	
22	最上町	2	
23	舟形町	5	
24	真室川町	8	
25	大蔵村	3	
26	鮭川村	2	
27	戸沢村	3	
28	高畠町	9	
29	川西町	9	
30	小国町	3	
31	白鷹町	9	
32	飯豊町	8	
33	三川町	6	
34	庄内町	9	
35	遊佐町	9	
合計		406	